

株式会社コルテーヌ

コルテーヌパソコンCADスクール様におけるCADトレース技能審査活用事例

◎施設概要

コルテーヌパソコンCADスクールは、株式会社コルテーヌが運営するスクール事業で、社名のコルテーヌ (CORTANU) の語源は、ラテン語の CORTINE (「人の輪」「包み込む」の意) からきており、「Cortanu with You」(あなたと共に!) をモットーに事業を行う企業です。

CADトレース技能審査については、当スクールで学んだ技術を、ビジネスで活かしてほしい! そのような願いから導入しています。



施設情報

名称：株式会社コルテーヌ
 開校：1990年10月1日
 資本金：1,000万円
 Web：www.cortanu.co.jp
 (2014年1月現在)

◎CADトレース技能審査の導入経緯

今日のIT技術の急速な進展に伴い、コンピュータによる業務の効率化、合理化が、企業の戦略において成功の鍵を握るファクターである事は誰もが認めるところです。その一方で十分なスキルを持つ技術者の育成が企業内で遅れているのが現状であることから、それらの技術者の確保・育成が急務と考え、コルテーヌパソコンCADスクールでは、平成6年からCADの技術フォローを中心にパソコン・CADのサポート事業を展開し、将来の企業を支える技術者の育成を行うとともに、具体的な目標としてCADトレース技能審査の合格を目指すことで効率よく教育訓練を行っています。

◎ご担当の先生にお伺いしました

株式会社コルテーヌ
 常務取締役 黒木 祥輝 様

・コルテーヌパソコンCADスクール様では、どのようにCADトレース技能審査を活用されていますか?

コルテーヌパソコンCADスクールでは、「学んだ技術をビジネスの場で活かしてほしい!」そのような願いから、実務的な課題で試験を行っているCADトレース技能審査の試験制度を導入しました。

また、講座の講師についても建設業の現場経験豊富な人材が指導しますので、単にパソコンやCADアプリケーションの操作方法を指導するのではなく、即戦力の人材育成に適した、実践的な専門知識を含めて指導し、ビジネス



の場で即戦力となる人材育成を行っています。

そのような目的で育成した人材を評価する資格試験として、CADトレース技能審査は、最適と考えています。

・CADトレース技能審査のどのような点が良いと思われますか？

まず、当スクールの訓練内容や育成方針は、ビジネスで活用できるスキルの取得ですので、これはCADトレース技能審査の試験課題や評価スキルとマッチしていると感じていますので、訓練で着実にスキルアップすることで、試験に合格することができ、ビジネスの場で活用できるスキルが身につくと考えています。

また、CADトレース技能審査の資格取得を目標とすることで、受講者は常に自らのCADスキルに対する問題意識を明確なかたちで持つことができ、それを解決しようとする意識の繰り返しが起こり、その結果、スキルが向上していくと考えています。その点では、同じ講座を受講されていても、CADトレース技能審査の資格取得を目指す方とそれ以外の方では、資格取得を目指す受講生の方が、学習意欲や理解するスピードも格段に高く、指導する側としてもスキルアップしていく経過が確実に見て取れます。

その他に、試験の実施については、地元の鹿児島職業能力開発協会の的確なサポートがあり、安心して試験を実施することができる、また、試験制度以外の幅広い情報交換が行えるなど、他の試験制度には無いメリットがあると感じています。

◎合格者の方にお伺いしました

建築CAD実践科 30代、女性

就職活動の際、一昔前までは、ワープロなどの基礎ITスキルがあれば採用条件を満たしていましたが、現在では、パソコンの操作スキルがあって当たり前という時代になり、就職のためには、まず、新しいスキルを身につける必要があると感じたのが受験のきっかけになりました。

職業訓練を受講する機会をいただき、集中して勉強ができる機会を得たので、その訓練期間を有効に活用するため、授業はしっかり聞き、分からないことは先生に聞いたり自分で調べたり、CAD操作についても繰り返し練習し、習得しました。

試験問題の操作で難しかったところは、縮尺と円弧でした。図面をどのようにして描いていくのかを理解するまで練習を繰り返しましたが、支点の取り方に慣れてくると描くのが楽しく、ストレッチや回転を多く使う図面は、頭の体操になります。

現在は、CADを使用して新築の住宅やリフォーム関係の図面等の図面を描く仕事をしていますが、訓練時代に習得したスキルを活用し、加えて実務の中で実践的な知識を学び、経験を積んでいます。

私がCADに興味を持ったきっかけは、いつか自分の住む家の設計をしたいという夢を叶えるためでした。その夢に向けてのファーストステップとして、職業訓練を受け、CADトレース技能審査に試験に合格することで、自信を持って、自分の夢に一步近づけたと思います。

建築に興味があり、CAD製図を学びたいのであれば、まず、この資格を取得して、その上で建築関係の実践的な内容を習得することをお勧めします。

CADの良いところは、いろいろな職業で活用できるため、将来、職業の選択肢が多くあることですので、是非、チャレンジしてみてください。

この方は、CADトレース技能審査建築部門中級を取得しています。

※本記事は、平成26年1月に作成したものです。